

スクール・ポリシー策定及びスクール・ミッション再定義の流れ

月	スクール・ミッション 【県教委】	スクール・ポリシー 【学校】
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・教育振興計画や長期構想におけるミッションの整理 (ミッション骨子検討) 	
7月	<p>校長会で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミッション骨子を提示 ・ポリシー策定の依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ・組織立ち上げ ・スケジュール確定
	<ul style="list-style-type: none"> ・ポリシー素案確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポリシー素案提出 (例年実施している「課題と取り組み」において提出)
8月 ～ 10月	<p>課題検討会(7月中旬～下旬)などで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポリシーについて意見交換 ・ミッション原案を提示 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の整理 ・ポリシー原案の作成 ・職員間での協議 ・生徒・保護者・学校関係者と対話
11月	<p>ミッション、ポリシーの最終調整</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ミッション再定義 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポリシー策定・公表 (ポリシー策定が完了した学校から順次公表)
R4・4月		

スクール・ポリシー（原案）およびスクール・ミッション（案）提出票（第1回目）

提出期限 令和3年8月20日（金）

高等学校

課程

学科

スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

--

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

--

アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

--

スクール・ミッション

* 次のひな形に合わせて作成してください。（一部文言を修正しても構いません）

_____の高校として、

_____の力を育成し、
_____の学校を目指します。

スクール・ミッションのひな形

存在意義 (地域と学科、特色など)	(〇〇地域の) 〇〇 (学科) の高校として、	作成上の留意点 ・ 定量的でなく 定性的な表現 で ・ 4～5行で
期待される社会的役割 (育成すべき力など)	生徒の〇〇の力 (人材) を育成 (する〇〇教育を推 進) し、	
目指すべき高等学校像 (教育目標など)	(〇〇の教育目標のもと) 〇〇の学校を目指す。	

例

〇〇地域における唯一の単位制普通科高校として、
文系・理系を問わず、幅広い知識と教養を身に付け、問題を発見し解決する能力やコンピュータを
理解し活用する力を育成し、
夢と志を持ち、やりがいや生きがいを持ちながら学び、新しい価値の「創造」に向けて、たくましく
しなやかに未来を拓く学校を目指す。

県立高校では唯一の連携型中高一貫校であり、「地域とともにある高校」として
社会の変化に向き合い、自ら問いを立て、他者と協働しながら問題を解決する「生きる力」を育成
し、
学校の魅力づくりに努め、「小規模校ながらもきらりと光る魅力ある学校」を目指します。

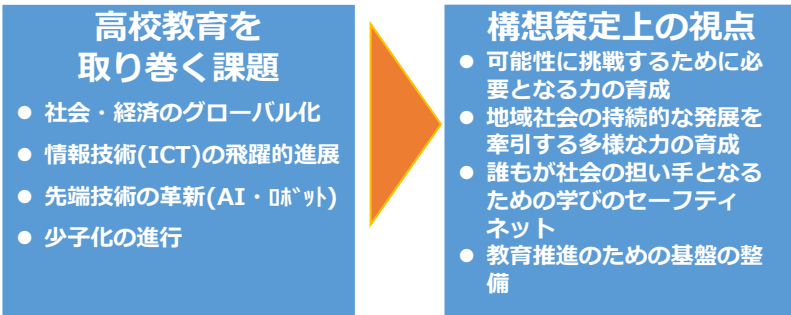
県立高校における国際バカロレア教育の推進校として、
思考力、コミュニケーション力、社会性などを育成し、国際的視野をもった「グローバル人材」を
育成し、
個人や社会の多様性を尊重し、全ての人が互いに学び合い、高め合い、支え合う学校を目指します。

進学と就職に対応する普通科と、スペシャリストを養成する工業科をもつ〇〇地域唯一の総合制高
校として、
将来、地域産業など社会に貢献できる人材を育成し、
新しい時代に必要となる資質・能力や個性を最大限に伸ばす学校を目指します。

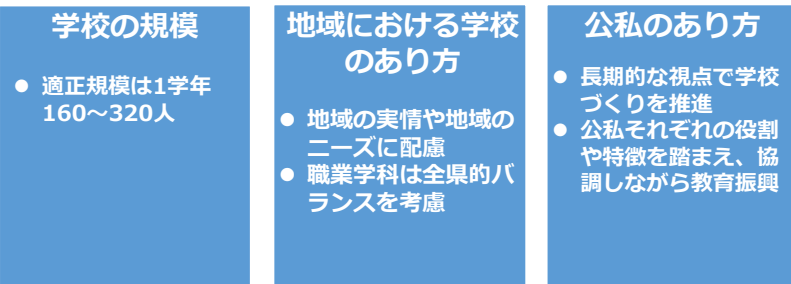
環境教育に積極的に取り組む〇〇地域の農業高校として、
グローバルな視点を持ち、地域社会、さらには世界の持続可能な発展に向けて積極的に貢献しよう
とする志を持った人材を育成し、
本県の豊かな自然、歴史、伝統・文化、産業を学び、世界に目を向け、持続可能な地域社会づくり
を牽引する学校を目指します。

1 構想策定の基本的な考え方

- **構想策定の趣旨** 生徒一人ひとりが個性や特性を生かし、諸課題の解決に向かい、たくましく未来を切り拓くことができる力を育む高校づくりの施策の方向の明確化
- **構想の位置付け** 「山梨県教育振興基本計画」に基づき、『魅力ある高校づくり』推進の指針
- **構想の期間** 令和2年度～令和11年度



2 学校のあり方



3 入学者選抜制度



4 魅力ある高校づくり

